

第12期 第2回 練馬区循環型社会推進会議（発言要旨）

日時、場所	令和6年3月11日（月）15時30分～17時00分 練馬区役所本庁舎5階 庁議室
出席者	出席委員 12名 森（朋）委員、入江委員、佐藤（良）委員、長坂委員、松浦委員、森（哲）委員、高橋委員、鈴木委員、佐藤（公）委員、市川委員、武田委員、小林委員 事務局 6名 環境部長、環境課長、清掃リサイクル課長、みどり推進課長、練馬清掃事務所長、石神井清掃事務所長

【次第】

- 1 開会
- 2 議題

「令和5年度練馬区資源・ごみ排出実態調査」の結果について

- 3 その他
- 4 閉会

議 事 内 容

副会長

第12期第2回練馬区循環型社会推進会議を開催いたします。

本日、会長が不在とのことですので、副会長の方で進行いたします。

事務局から本日の出席状況等をお願いします。

事務局

ただいまの出席委員数は12名です。2名欠席となります。当会議の定足数は8名ですので、本日の会議は成立いたします。

会議内容につきましては、発言要旨として作成し、会議終了後に区のホームページと区民情報ひろばで公開いたします。

副会長

本日の議題は「資源・ごみ排出実態調査の結果について」です。

事務局から説明をお願いいたします。

清掃リサイクル課長

(資料1 - 1 ~ 1 - 3、参考1、2の説明)

副会長

ただいまの説明について、皆様からのご意見ご質問がございましたら、お願いいたします。

委員

容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括収集は分かりやすいと説明がありました。容器包装プラスチックはプラマークがついているので判別できますが、製品プラスチックはどのように判別するのでしょうか。

清掃リサイクル課長

製品プラスチックについては、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律で市区町村はリサイクルするよう努力義務が課せられています。現在、プラマークが付いているものは容器包装プラスチックで、それ以外のプラスチックは可燃ごみとしてお出しいただいておりますが、排出実態調査を見ると、容器包装プラスチックの中に製品プラスチックが6.933キロ、4.6%の割合で混入しています。同じプラスチックで一方が可燃ごみ、一方が容器包装プラスチックというのは分かりづらいということでお声をいただくことがあります。製品プラスチックを回収するに当たり、製品プラスチックの日を設けると分かりにくいところがありますので、容器包装プラスチックと同じ日に出す方が良いと考えています。

容器包装プラスチックと違い、プラマークでなく素材で判別をするため、確かに分かりづらいです。そのため、区の周知の仕方にかかってくると思います。

また資料1 - 2、24ページの表の上の段に記載されている「純粋な製品プラスチック」については、100%プラスチックでできた製品のためそのまま資源化できます。それ以外に「金属が混ざった製品プラスチック」というものがあります。ボールペン等いわゆる複合物です。この分別を区民の方にどのようにお願いをするのか。複合物だから可燃ごみとするのか、分別してプラスチックの部分だけをプラスチックとして出していただくようお願いをするのか、検討している状況です。

委員

純粋な製品プラスチックも金属が混ざった製品プラスチックも一緒に出すということはありえますか。

清掃リサイクル課長

100%のプラスチック製品であればリサイクルは問題なくできます。金属が混ざっていても問題ないかについては、中間処理業者と資源化業者の意向が大きく関わってくるので、まだ決まっていません。法律では完全に分別するようになっておりますので、それを区民の皆様にお願いをするのか、区がお金をかけて実施するのか。プラスチックを自動で分別する技術はないので、必然的に区民の皆さんにお願いをしなくてはならないと思っておりますが、検討中です。

副会長

プラスチックの削減とリサイクルを進めなければいけないというのは世界的にとっても重要な事項だということで合意がされてます。

それに基づいて、日本国内でも製品プラスチックの回収をこれから新たに始めると他の自治体が表明をしているところです。

区のスケジュールを見ると、おそらく練馬区単独で検討されることに加え、先んじて始めた自治体の状況を参考にする時間的な猶予があるかと思えます。先行して進める自治体の状況や情報を収集されると参考になると思いました。容器包装プラスチックは軽くてかさがあるものが毎日出ますが、製品プラスチックは毎日出ないが大きくてかさがあるという特徴があるので、その辺りの特徴も踏まえてどのように周知をし回収を行うか等、これから様々な自治体がチャレンジしていくと思えますので、先行事例も参考にしつつ進めていただきたいと思えます。

他に質問はありますか。

委員

資料1 - 2の4ページに処理困難物ということで、電池やスプレー缶、その他処理困難物が載っています。令和5年度に注射針等の非常に危険なものにより事故が起きたか、また事故防止の対策があるのか教えてください。

清掃リサイクル課長

令和5年度は注射針を誤って刺してしまったというような、収集中の作業事故はありませんでした。

他にもよく包丁やガラス等も捨てられます。

危険なものは新聞紙等であるので、危険と書いて出すよう周知させていただいており、最近事故は起きていません。また対策として、職員は針が刺さらない特殊な手袋や安全靴を装着し、十分気をつけて作業しております。

副会長

練馬区では起きていないけれども全国的に見れば事故は起きています。他に質問はありますか。

委員

プラスチックは種類が多く、金属がついている等形状も様々なので、燃やした方がよい場合もあると思うのですが、いかがでしょうか。

清掃リサイクル課長

サーマルリサイクルの方が効率的ではないかという話ですが、国が平成12年に作った循環型社会形成推進基本法の中でも一番はリデュース、つぎにリユース、最後にリサイクル、これはマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルを行い、リサイクルも難しいものについては、熱回収、サーマルリサイクルを行うという順番が示されております。そのため、法律上サーマルリサイクルよりもマテリアルリサイクルやケミカルリサイクルが優先されることとなっています。これまでプラスチックは、リサイクルする技術がなかなか進んでこず、二十三区の場合は、いわゆるサーマルリサイクルを進めてきました。また、練馬区をはじめ、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき容器包装プラスチックの資源化を行っている区もあります。

近年は製品プラスチックについても、ある程度リサイクルする環境が整ってきたところもあるので、基本的にはサーマル以外のリサイクルという形を考えています。

副会長

容器包装プラスチックはプラスチックやアルミがついていたり、汚れがついているものが多いので、製品プラスチックの方がリサイクルしやすいという話は聞いたことがあります。製品プラスチックを初年度から完璧に分別して回収できるということではなく、できることから始めて量を少しずつ増やしていくのが現実的と考えます。

また、資料1 - 3のリーフレットがコンパクトにまとまっているので、様々なところで活用いただきたいと思います。

小学校の社会科の授業で地域のごみについて学ぶという授業があると思います。多くの自治体では、それぞれの自治体で作成した教材を小学校に提供していると認識しているのですが、練馬区でそういった教材を使っていますか。使っているとしたら、今年の秋に授業があると思いますので、その時に令和5年度の調査について配布すると児童や保護者の方が見ると思うのですが、いかがですか。

委員

練馬区においても小学校3年生と4年生については副読本を練馬区独自に作っています。

小学校3年生は練馬区のことを中心に勉強し、4年生は東京都のことを中心に勉強します。ごみについては小学校4年生で勉強します。副読本のデータは毎年更新しています。本日の資料等も活用しながら学校教育を進めていく必要があると思いますので、連携していきたいと思います。

副会長

毎年更新されているのはとても良いと思います。この資源・ごみ排出実態調査の結果も活用していただければと思います。

他に質問はありますか。

委員

処理困難物、例えば土砂や石等は、どのように出せばいいのでしょうか。

清掃リサイクル課長

処理困難物については、専門業者を案内しています。また少量であれば清掃事務所の方へ持ってきていただければ処理します。

在宅医療用の注射針については、区の薬剤師会と協力いたしまして、家庭用の注射針を集める事業を行っています。近くの薬局に行くとケースが渡されて、その中に注射針を入れ、薬局が回収するというような仕組みです。

副会長

他に質問はないようですので、次第3 その他に入ります。

本日は循環型社会推進会議としては最後の会議になります。一旦事務局に進行を戻しますのでよろしく願いいたします。

事務局

循環型社会推進会議と環境審議会が再編統合するため、循環型社会推進会議としては本日が最後となる予定です。

3年間を振り返りまして、ご感想を一言ずつお願いいたします。

委員

今後地域おこし協力隊で活動していく中で、ごみを減らすために、物を有効的に使う等を常に続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

委員

会議に参加する中で、ごみ問題については事業者や区民のそれぞれの立場で協働していかないといけないと実感しました。これからは1区民として意識を持って行動したいと思います。ありがとうございました。

委員

私は主婦の目線で会議に参加しましたが、とても勉強になりました。ここで学んだことは友達等に話して広げております。ありがとうございました。

委員

マンションの管理人をする中で、プラスチックが分別されることが多くなってきたように思います。これは、区報等での普及啓発活動の成果の現れかと思えます。練馬区も外国人の人口が少しずつ増えているので、外国語に対応した普及啓発が必要かと思いました。

委員

様々なことを教えていただきありがとうございました。勉強になりました。

委員

ごみ問題には長く携わっていますが、永遠のテーマで、これからもずっとあり続けると思っています。

委員

20年後 30年後に人々が分別するかどうかは今の子供たちの教育から始まっていると考えております。

ここでいただいたお話等を踏まえて、子供たちに、自分たちの未来を守るため、環境問題について考えるよう伝えていけるように、教育委員会としても環境部門と連携しながら取組を進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

委員

試算では、あと50年で東京都の埋立地が満杯になると言われています。埋め立て処分場を延命することもありサイクルの目的ととらえています。

可燃ごみに含まれるプラスチックのほか、古布についてもリサイクルを推進していくべきと考えています。

委員

事業者として、求められるものが増えていく中、厳しい状況に置かれておりますが、製品プラスチックの処理についても区と連携を取って区民の皆様のために日々努力しているところです。これからもよろしく願いいたします。

委員

ごみの問題については日々変わっていくものだと思います。それぞれの立場から、ごみの分別等について発信できたらいいと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。

委員

最近電動自転車のバッテリーがごみとして多く捨てられています。また、商店街の医療関係者が針をごみの日に捨てる場合があります。ボタン電池については、重ねる人が多くいますが、発火して危険なので、一つずつテープで絶縁することを周知すると良いかと思いました。

勉強させていただきありがとうございました。

清掃リサイクル課長

電動自転車についてはバッテリーも含めて粗大ごみとして収集し、中継施設でバッテリーは外して、火災にならないように別の処理をしています。バッテリーだけを出す場合は不燃ごみの日に他の不燃ごみとは別の袋で出していただければ回収します。

またモバイルバッテリーを含む充電式電池については、「充電式電池リサイクルボックス」に出していただければと思います。

医療系廃棄物については、医療機関の皆様には別途冊子で周知をさせていただいております。また、清掃事務所の方で医療系廃棄物の出し方について指導できる場合があります。

ボタン電池については、重ねてしまうと発火するというので、絶縁して出すよう周知していますが、さらに分かりやすく周知できるように検討いたします。

練馬区資源・ごみの分け方と出し方の簡易版については、外国語版があります。英語、中国語、韓国語、タガログ語、タイ語、ネパール語、ベトナム語の7か国語で、練馬区に多く住んでいる外国人向けに作っております。

お届けすることができますので、必要部数をお伝えください。

副会長

会議に参加して勉強になりました。廃棄物の研究をする中で、昔はいかに分別

率を上げるか、ごみの量を減らしていくかということの議論に終始していたのが、昨今では次なる問題が表れてきています。例えばプラスチックの問題は世界中で議論されている問題かと思えます。

また食品ロスやファストファッションと言われるような衣類に関するごみについても話題になっています。さらに、災害時に出てくるごみについても取り組まなければならない問題です。

国の温暖化対策とごみの問題は一緒に議論していくことが重要になってきています。環境問題について議論する環境審議会と清掃リサイクルについて議論する循環型社会推進会議を再編統合することで、今の時代の流れに合った形で検討を進められるのではないかと期待しています。

事務局

最後に、環境部長からご挨拶申し上げます。

環境部長

循環型社会推進会議では、委員の皆様にご意見をいただきました。歴代の部課長や職員は、ご意見をもとに区の清掃リサイクル事業を前進させることが出来ました。本当にありがとうございました。1月1日に能登半島で地震がありました。240万t以上の災害廃棄物が出ると報道されています。練馬区は東京都の被害想定ですと、災害廃棄物が107万t出ると予想されています。これは通常のごみの約9年分の量です。そこで、発災時にどのように処理していくかが非常に大きな課題です。日頃のごみの発生抑制や資源化に取り組むとともに、災害廃棄物についても来年度以降検討を重ねていきます。引き続きそれぞれの立場でご意見等をお寄せいただければ大変ありがたいと思います。これからの清掃リサイクル行政についても、皆様のお知恵を賜ればと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

事務局

進行を副会長にお戻しさせていただきます。よろしく願いいたします。

副会長

以上をもちまして練馬区循環型社会推進会議を終了させていただきます。ありがとうございました。